

## 「県立図書館の将来のあり方について」及び「県立図書館活性化基本計画」に関する主な取り組み成果について

※「県立図書館の将来のあり方について」の項目で整理。朱書き部分は、主に「県立図書館活性化基本計画」に関する事項

## 県内図書館の中核的役割の発揮

- 1 専門書や郷土資料の収集拡充、図書資料費の確保**
  - 専門書は、既存資料との連続性や関連性が高い資料を体系的に収集
  - 郷土資料は、情報収集に努め、網羅的に収集
  - 図書購入に係る予算(R元年度は、リニューアルオープンに備え、約37百万円(対前年度1.7倍))
  - 開架冊数の拡大(18万冊→22万冊：R2.2)
- 2 市町村図書館(室)に対する支援の充実**
  - 県図書館協会による県図書館職員専門研修の実施(R元年度4講座)
  - 県内図書館間の情報交換のためのポータルサイト運用(H30.8)
- 3 学校図書館との連携推進**
  - 中高生向け新刊図書案内「GATE★BOOK」の配付
  - 高校の図書委員研修等への協力(R2:2回)
  - セット資料貸出の開始(R2.1)
  - 「ティーンズコーナー」の新設(R2.2)
- 4 団体貸出の範囲の拡大**
  - 産業科学館や大学コンソーシアムやまがたへの団体貸出(R元年度)
  - 本館による選書や市町村図書館での受取など利便性向上
- 5 調査相談(レファレンス)機能の拡充**
  - レファレンス研修への担当職員の派遣(R元年度1研修1名)
  - パスファインダーの充実(R3.2時点42テーマ)
  - 選書における資料選定の配慮
- 6 職員体制の改善**
  - 開館日・開館時間の拡大に伴う司書の増員(R元年度8名増)
- 7 職員(司書)研修の充実**
  - 県図書館職員専門研修への参加(R元年度4講座)

## 県民ニーズ実現のための積極的支援

- 1 地域の課題解決の支援・民間団体との連携の促進**
  - 生涯学習文化財団や男女共同参画センター、大学、県内図書館等との連携による企画展示の開催(R元年度8企画、2年度7企画)
  - 「ビジネス支援コーナー」の新設(R2.2)
- 2 子育て支援機関・団体との連携による読育の推進**
  - 東北文教大学との連携による定期的な読み聞かせ会の実施に向けた企画検討・実施(R元年度:検討、2年度:7回実施)
  - 「子育て応援団 すこやか2019」における出張展示
  - 県国際交流員による外国語での絵本読み聞かせ会(R2)
- 3 行政課題解決の支援・行政機関との連携の促進**
  - 県関係機関や市町村等との連携展示・出張展示の開催(R元年度8企画、2年度26企画)
- 4 電子媒体の積極的活用の推進**
  - PDF化した絵図のファイル15点をホームページで公開
  - 電子黒板、大型プロジェクター、タブレット等を備えた「アクティブラーニングルーム」の新設(R2.2)
- 5 積極的な情報発信による認知度の向上**
  - 図書館ホームページ・フェイスブック、図書館だより「本の森通信」による情報発信
  - 企画展示をはじめ、図書館の取り組み・トピック等のパブリシティによる情報発信
  - 県公式YouTubeチャンネルでの動画配信(R2.11)
  - デジタル・サイネージの導入による情報発信【3か所】(R2.2)
- 6 ボランティアの導入等図書館運営への県民参加の推進**
  - 雑誌スポンサー制度の導入(R2:8社9誌)
  - 蔵書点検時の書架整理ボランティア(R1.11、R3.1)
  - 資料移動作業の高校生ボランティア(R1.10)
  - リニューアルオープンスタッフとして高校生ボランティア(R2.2)

## 県民本位の利用しやすい図書館づくり

- 1 開館日の増加等利用機会の拡大**
  - 第2・第4月曜日の開館(R2.2)
  - 利用時間を午後8時まで延長(コロナ禍によりR2.8)
- 2 手荷物・飲料持込みの解禁**
  - ICゲート設置により手荷物は、H28.2から対応。飲料(蓋つき)は、R2.2から持込みエリアを拡大
- 3 蔵書管理の充実による利便性の向上**
  - リニューアルオープン前に全資料を点検(R元.12)
  - ICタグと貸出システムとの連携による自動貸出機の導入(H29.3)
  - 郷土資料エリアの利便性向上、郷土資料書庫への加除湿機能の設置(R2.2)
- 4 インターネット・複写サービスの利便性向上**
  - 全エリアフリーWi-Fi環境の導入(R2.2)
  - カラー複写機の導入(R2.2)
- 5 高齢者や乳幼児同伴者への配慮**
  - 大活字本コーナーの設置、大活字本の充実
  - 各カウンターに老眼鏡や視覚障がい者用読書補助具の配置
  - DAISY録音図書等の整備推進
  - 対面朗読室の拡充(R2.2)
  - バリアフリースイールの充実【オストメイト対応1か所】(R2.2)
  - 「こどもエリア」の拡大【面積1.5倍、開架8千冊増加】(R2.2)
  - 「おはなしの部屋」の新設(R2.2)
  - 赤ちゃん休憩室・子ども用トイレ・ベビーカー置き場を近接して設置(R2.2)
- 6 おもてなしの雰囲気づくりの推進**
  - 大規模改修の実施(H28-29基本及び実施設計、H30-R1改修工事)
  - 図書館エリアの拡大【1.35倍】(R2.2)
  - 県産杉材の「縣人文庫」、NDCピクトグラム標示、白を基調とした「こどもエリア」等にリニューアル(R2.2)
  - 閲覧席を180席から487席に増設、電源付き席の新設(R2.2)
  - 寛げるラウンジと開放的なデッキエリアの新設(R2.2)
  - 1階フロアのBGM放送・2階のサイレントルーム(R2.2)
  - 多様な相談に対応する総合カウンター機能の充実(R2.2)
- 7 賑わい創出につながる仕掛けの展開**
  - 民間団体や高校・大学等と連携したイベント・企画展の開催
  - 時事の話題や館内イベント等と連携した企画展示や特別企画(R2)
  - 高層書架前やアクティブラーニング等での賑わい創出企画(R2)
  - 遊学館内へのカフェレストランの新設(R2.2)
  - 協働の賑わいづくり企画・実行委員会による1周年記念アニバーサリーフェスタの開催(R3.2.2～2.28)
- 8 図書館情報システムの改善**
  - 横断検索システムと図書館情報システムを統合し改善(H29.3)
- 9 駐車場利用の改善**
  - 隣接する「遊学館駐車場(40台)」の新設(R2.2)

- ◎「あり方」及び「活性化基本計画」に掲げる取り組みは概ね順調に達成
- ◎「令和2年度県政アンケート調査」を実施し、県民の利用状況や今後期待する取り組み等を把握(別添参照)
- ◎これらを踏まえた次期計画における主な取り組みの方向性を検討

- 大規模改修によって大きく向上した図書館機能の効果的な活用【ときめく】
  - ・安全安心かつ快適に利用できる施設運営
  - ・来館のきっかけとなる多様な企画実施
  - ・認知度を高める情報発信
  - ・実空間と情報・デジタル空間のハイブリッドな活用 など
- 県民を支える資料の充実と資料の創造的な活用【たよれる】
  - ・全世代の県民の学びと成長を支える資料の充実
  - ・レファレンス機能の充実
  - ・図書館を支える人材の育成
  - ・「山形県に関する図書資料は県立図書館にある」ことを目指した丁寧な資料収集と県民等への効果的な還元 など
- 情報発信をはじめデジタル化の推進や外部資源の更なる活用【つながる・ひろがる】
  - ・ウェブによる情報発信の更なる充実と利用しやすい図書館情報システム
  - ・非来館型サービスの利便性向上
  - ・国立国会図書館等が提供するサービスの効果的な活用
  - ・ボランティア人材や専門的なスキル、資金など外部資源の積極的な活用 など